サフラン便り

第３３号　２０年6月１５日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1
TEL:0952-23-8931
FAX:0952-23-8941
http://www8.ocn.ne.jp/~saffron/

日本女性薬剤師会「移動セミナーin 佐賀」のご案内

日　時：平成２０年９月１４日（日）９時３０分～１６時まで
会　場：アバンセ（佐賀県立女性センター・佐賀県立生涯学習センター）
テーマ：～保健・医療・福祉の架け橋になろう～
目　的：通院している患者様は全て在宅患者であり、全ての薬剤師は在宅医療に関係している。患者の暮らしの中にある「薬」という内容の研修機会とする。
また、全国から集まる各県女性薬剤師達と共に研修し、交流・情報交換をすることによって、佐賀県内の女性薬剤師の資質向上と活性化を目指す。

【特別講演講師　鎌谷直之先生のプロフィール】

1948 年　福岡県生まれ
1973 年　東京大学医学部卒業
2001 年　東京女子医科大学大学院先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野教授
2003 年　理化学研究所遺伝子多型研究センター，情報解析研究ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨﾚｸﾀｰ（併任）
著書：「遺伝統計学入門」「名医の図解　痛風を治す生活読本」「実感と納得の統計学」「尿酸値が高い人が読む本」「これならわかるデータを活かすポストゲノム時代の遺伝統計学」「画像で診る膠原病・リウマチ性疾患」他

（著書抜粋）

ヒトゲノムは、人間の生物学的側面を根源で規定している。その全配列解明とともに２１世紀の生物学は華々しく幕を開けた。振り返ればその約５０年前の１９５３年にワトソンークリック他により遺伝子の本体が DNA であることが発見され、そのまた５０年前の１９００年にメンデルの法則が再発見されている。２０世紀における約５０年を隔てた２つの大発見が、それ以降の生物学の手法と方向性を大きく塗り替えたように、今世紀の初頭における大事業の成果であるヒトゲノム配列の解明が、これからの生物学、医学、薬学、農学の方向性に大きな影響を与えることは間違いないであろう。どのような哲学と科学的手法がこれからの生物学を主導するかは未知である。しかし、多くの研究者はゲノム配列やオミックス研究、あるいは疫学研究に代表される、情報と数理の重要性を指摘している。中でも統計学的手法を用いた遺伝学的手法は、すでに予測の段階を乗り越え多くの人の疾患の原因解明にその威力を発揮し始めている。日本ではもちろんのこと、世界レベルで情報と数理、および統計学の技術を身に付けた生物学、医学研究者を急速に、しかも数多く養成する必要がある。先進諸国ではその取り組みがすでに始まっている。

＜遺伝統計学入門＞　まえがきより

【基調講演講師　佐藤英俊先生のプロフィール】

1952 年　北海道旭川市生まれ
1982 年　クレイトン大学（米国ﾈﾌﾞﾗｽｶ州ｵﾏﾊ）物理学科卒業後、医学部（ﾒﾃﾞｨｶﾙｽｸｰﾙ）入学
1990 年　佐賀医科大学卒業後、麻酔科入局
1997 年　米国・英国へホスピス研修留学
2005 年　国立大学法人佐賀大学医学部附属病院地域包括緩和ケア科　診療教授（科長）

（所属学会）

日本慢性疼痛学会・理事、日本死の臨床研究会・世話人、日本緩和医療学会、
日本東洋医学会、日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会、日本ペインクリニック学会、
日本医学教育学会、日本疼痛学会、日本医史学会

FAPA Congress2008（アジア薬剤師会連盟）
学術大会参加のお誘い

FAPA 大会は 2 年に一度アジアの国で開催されますが、前回は横浜でした。
佐賀県女性薬剤師部会は女性薬部会の活動を紹介し、とくにホームページの有効活用というテーマでポスター発表を行いました。今回は 11 月 7 日～10 日にシンガポールで開催されます。
一般早期申し込みは８月３０日まで　演題申し込みは６月３０日までです。
（参加費用 550SGD）

詳細に関しては下記のウェブサイトをご覧ください。
http:/www.fapa2008.com/index.html

徳渕（鳥栖三養基）が参加します。いっしょにいきませんか？

男女共同参画事業
日本女性薬剤師会２００８年度学術講演会ご案内

開催日時：平成２０年６月２２日（日）
開催場所：星薬科大学　メインホール
受講料　：７０００円　　取得単位：日本薬剤師研修センター認定３単位
講演内容
① 新しい医療安全行政の展開　　厚生労働省　大臣官房審議官　黒川達夫先生
② 上手に年を重ねるためにーアンチエイジング医学の現状―
AAC クリニック　副院長　浜中聡子先生
③ メタボリックシンドロームと食生活
自治医科大学付属病院栄養部　栄養室長　宮本佳代子先生
④ メタボリックシンドロームの本質にせまるー病態機序から考える解決方針―
聖マリアンナ医大　代謝内分泌内科教授　田中　逸先生

＊ 参加希望の方は、佐賀県薬剤師会事務局まで、お問い合わせください。
＊ 参加費は女性薬部会から補助いたします。

ちょっと一言
小学生の頃、先生からの「質問はないかな？」の問いかけに、みんなが黙っていると『聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥』といわれて、どちらの『恥』もかきたくないなと、子供ながらに時が過ぎ去るのを待った覚えがありました。しかし、自分を理解し、応援してくれる存在に対しては安心して知らない事を聞いていたな、とも思い起こせます。
最近、ニュースなどの情報で「無知は怖いな」と感じる事が多くなりました。
『知らない』をカミングアウトしたら親切に教えて下さる方々も増えました。
素直が一番。　（島田）